

1. 題材名 「布を用いた物の製作～丈夫な防災リュックを作ろう～」

2. 本時のめあて ミシンや用具の基本的な操作を覚え、目的に応じた縫い方ができる。

3. 学習計画（9時間）

時	学習内容
1次	布を用いた物が、生活を豊かにしていることを理解できる。
2次	布を用いた防災リュックの製作手順を理解することができる。
3次	基本的なミシン操作を理解することができる。
4次（本時4／9）	ミシンや用具の基本的な操作を覚え、目的に応じた縫い方ができる。
5次	自分が製作した作品を評価し合い、工夫した点を認め合うことができる。

4. 本時案

学習活動	教師の意図と働きかけ	評価の視点
1. 既習事項の確認をする。	・前時の学習内容について確認させる。	・防災バッグ製作の手順を理解できているか
2. 学習のめあてをつかむ。	・小学校での既習内容を踏まえ、縫い方を確認させる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 【課題】 どのように縫えば、丈夫なリュックを製作することができるだろうか。 </div>		
3. ミシン操作の練習をする。	・ほつれないようにするための工夫を発表させる。 ・動画を用いて必要な過程を知らせる。 ・基本的なミシン操作を確認し、ミシン縫いの練習をさせる。 ・動画を再生し続け、苦手な人が確認できるようにしたうえで、手順も確認させる。 （上糸のかけ方、下糸の準備、縫う準備）	・どうすれば丈夫な縫いになるか理解できているか。 ★上糸や下糸の準備が理解できる（知） ・プロジェクター、タブレット ・糸調子を調整できているか。
4. ポケットを本体に縫い付ける。	・班ごとに協力しながら、ポケットを縫い付けさせる。 ・リュック製作の手引きや動画を参考にするように示唆する。 ・机間指導をしながら、縫いしろの始末等について助言する。	・布に合った糸を選んでいるか。 ・ほつれないように返し縫いができているか。
5. 本時のまとめを行い、次時の学習を確認する。	・丈夫な『防災リュック』を製作するためには、縫い方や縫い目、返し縫いなどに留意することが大切であることを確認させる。 また、次時は、ポケットを縫い終え、持ち手の製作に入ることを伝える。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 【まとめ】 丈夫な防災リュックを製作するには （細かい縫い目で縫いはじめと縫い終わりを返し縫い）で縫うことが大切である。 </div>		